

CBDCのメリット

通貨発行・
管理の
コスト削減

デジタル経済の
発展と
イノベーションの
促進

徴税率と
税収総額の増加

国境を越えた
決済の利便性
向上

金融包摂



CIPHER-CORE Co., Ltd. (Japan)
サイファ・コア株式会社

CEO 中村 宇利
住所 〒108-0075
東京都港区港南1-9-36
AREA-品川 13階
電話 03-6824-6551
URL <https://www.cipher-core.com>
メール info@cipher-core.com
持株会社 CIPHER-CORE, Inc.
(米国、OTC上場企業、CFCI)



CBDC
中央銀行デジタル通貨
経済活性化のために
～ どこでも直接決済 ～

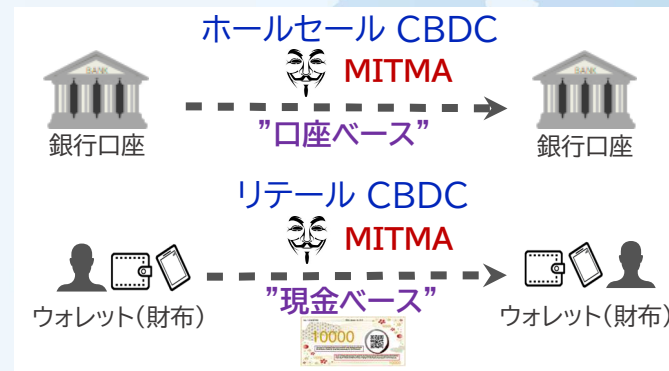


リテールとホールセールCBDCのための究極のソリューション

CBDCは一般的にホールセール(金融機関間取引)※1とリテール(一般ユーザー間取引)※2に分類され、ホールセールは「アカウントベース」、リテールは「現金ベース」が理想とされてきました。中間者攻撃(man-in-the-middle attack: MITMA)の脅威が、ホールセールとリテールの両CBDCとも一方から他方へ何らかの情報を送信する必

要があるため、その実現を阻んできました。さらに、リテール分野では、最大の技術的課題は、単純に「デジタル・キャッシュ」をどのように実現するかということであり、これまでの試みはすべて失敗に終わっています。

弊社ではすでに「情報理論的安全性」に基づく「完全暗号」技術を完成させ、中間者攻撃を防ぐだけでなく、世界で初めて「デジタルキャッシュ」を実現することに成功しました。



リテール CBDC は、大量かつ高頻度の決済を同時かつリアルタイムで行うことが求められており、これを可能にするためには、すべての決済を独立したイベントとして扱うことができなければなりません。さらに、すべての小口取引の詳細を中央銀行元帳に記録することは現実的ではありません。

CBDCの取り組み状況

アトランティック・カウンシルの調査によると、通貨発行コストの削減、金融包摂の促進、通貨主権の強化(クロスボーダー)を目的として、2023年7月に検討されている130カ国のうち、64カ国がCBDCを開始または試験的に導入しています。

発展途上国は、**完全暗号**を持つ適切な技術を持特定し次第、CBDCの導入を開始しようとしています。

※1 ホールセール: 主に金融機関・銀行間決済を指す
 ※2 リテール: 主に一般ユーザー間の小口決済を指す

世界で唯一の「デジタルキャッシュ」

	Cipher Cash	現金	従来の支払いシステム	分散型台帳 (ブロックチェーン)
即時決済	◎	◎	×	×
高トラフィック処理	◎	◎	○	×
匿名性	○	◎	×	△
コストパフォーマンス	◎	×	○	×
不正使用防止	◎	×	○	×
耐ネットワーク障害性	○	◎	×	×
誰でも使える	○	◎	○	△
省エネ	○	△	△	×
決済手数料無料	◎	◎	×	×
決済税の導入	◎	×	△	△

(図) Cipher Cashの長所

◎=高、○=中、△=低、X=悪い